

# 業務の新聞

第30号

平成30年

9月26日

## 第6回地本大会

### 成功裏に終了しました。

9月22日田町交通ビルにおいて、第6回地本大会を開催し成功裏に終了しました。

“総会制”での初めての開催でしたが、滞りなく議事を進め予定の議題を方針通り満場一致で可決し、私たちは新たな1年に歩を進めます。

参加した組合員の発言は①2月以降職場状況について②駅業務委託について③委託に伴う出向期間について④職場に設置させた「防犯カメラ」について⑤乗務員勤務制度について⑥エルダー社員制度について⑦エルダー社員の賃金改定についてなど多岐にわたるものでした。地本として「地本大会発言に基づいた申し入れ」を作成し近々に支社に対して提出していきます。

組合員の年齢構成上、現職組合員とエルダー組合員の数が“逆転”しましたが、「職場で働いていること」を最大の武器にし、労働条件・労働環境の維持・向上に向け奮闘することに変わりはありません。

「変革2027」に基づく様々な施策が立案・企画・実施されています。目を大きく見開いて、耳を傾け、“より良い会社・より良い職場”を創造するために仲間たちと『わしやわしや』と話をし、変化や気掛かり等々を地本に寄せてください。

この会社には労働組合に加入していない“労働者”が3万人います。大きな転換点の中で私たちは働いています。是々非々を大前提に、職場を基軸に私たちの運動を堂々と進めて行きましょう！

## 営業施策交渉

9月26日、平成29年度営業施策(その3)の回答・交渉を職場の組合員からも出席してもらい行いました。

「終電後の夜間巡回時に社員の安全確保のために警備員を付けること。」という申し入れに対し、会社回答は「業務委託箇所の運営体制については、(株)JR東日本ステーションサービスで決定することとなる。」という回答でした。

論議の中で組合側から①夜間巡回について②委託前はどうするのか③インバウンド対策④駅設備についてなどの提起を行い会社側は①社員を守るハード・ソフト両面の対策をしている②駅周辺環境・乗降客数などを加味し判断している③意見は担当者に伝える④今後も論議して行きたいなどが述べられました。

営業施策は平成30年度においても「業務委託」「駅遠隔操作システム導入」などすでに会社側から提案されています。

検証と“実務実感”を基に問題点の解決に取り組みます。

## 乗務員勤務制度

本部=本社間で乗務員勤務制度の改正は妥結しました。

今後は、職場での“現実”を知る私たちが、自分たちの職場において、改正された制度と実務との『ギャップ』を埋めていくことになります。

すべての社員が制度の恩恵を受けるために知恵を出し、論じ、一つひとつの問題に立ち向かわなければなりません。

よろしくお願ひします。